

第15期 中期経営計画

2021年度-2025年度



学校法人 茨城キリスト教学園

第15期中期経営計画の期間は、
2021年度から2025年度までの
5年間とします。

茨城キリスト教学園は
キリスト教の精神に基き、
謙虚に真理を追求し、
公正を尊び、真の隣人愛をもって
人と社会に進んで奉仕し
人類の福祉と世界の平和に貢献する
人間の育成を目的とする

我が学園の教育理念 1991年

理念の体系

Peace Truth LOVE

平和と真理と、愛

スクールモットーは、本学園が
求め続ける理念を表しています。

人と社会に進んで奉仕し、福祉と平和に貢献する人間を育成する、
地域と世界に開かれた、つながる学園を目指します。

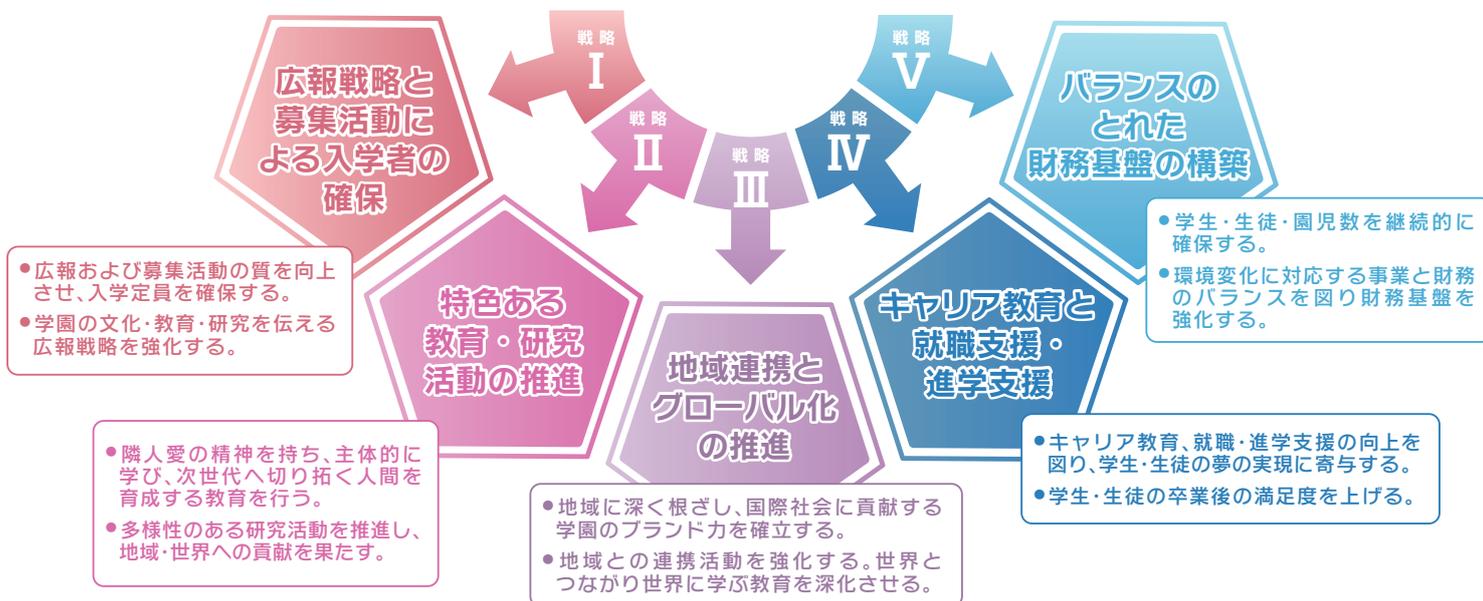
「教育」、「研究」、「人間の育成」、「社会貢献」機能の
更なる進化を図ります。

理念と目標を具現化するために、
5つの戦略方針を実行します。



戦略実施の体系

5つの戦略方針の方向性



戦略 I

広報戦略と募集活動による入学者の確保

1. 学生募集に効果的な広報活動と入試制度の再構築

- 魅力的なホームページや広報誌の作成により発信力を向上し、安定的に志願者を確保するためのブランド力を構築する
- 志願者、入学者データの分析に基づき、戦略的な募集活動を行う

2. 園児の安定的確保と広報誌の強化

- 少子化と社会変化の中で1、2、3号認定子どもの定員割合を検討し総定員数を確保する
- 入園希望者の目線に魅力のある、パンフレット等の紙媒体や、ホームページの広報を充実させる

3. 学校の魅力の情報発信力強化

- ホームページやツイッター等のSNSを用いて広報活動を地域社会へPRする
- 校内外の説明会や学校見学会、塾訪問を積極的に実施し進路実績ならびに課外活動の成果をPRする

4. 豊かな自然、歴史と伝統をふまえた革新的な学園ブランド構築

- 豊かな自然環境の中にあつて未来を見据えた学びを可能にする総合学園としての強みを生かした学園広報を実践する
- 学園創立80周年記念事業実施計画の策定に基づく実施準備を行う
- キアラ館50周年記念事業として紹介パンフレットの作成、およびキアラ館案内マニュアルを作成する

戦略 II

特色ある教育・研究活動の推進

1. 建学の理念に基づいた教育

- キリスト教精神に基づき、豊かな教養を培う教育を実践する
- 地域・国際社会に貢献する人材を育成する
- 総合学園として、中高・小・中・高との連携教育を促進する
- キリスト教センターと連携した教材を改訂開発する
- 朝礼のライブ配信等実施により礼拝内容を充実させる
- ボランティア活動を推進するための体制を整える

2. 教育の質保証

- 教育目標を達成するために教学マネジメントを確立する
- アセスメント・ポリシー策定により教育成果および学習成果を可視化する

3. 学生支援体制の充実

- 多様な学生への相談体制を充実させる
- 学生のニーズを体系的に調査し満足度を向上する

4. 教職員研修の充実

- FDおよびSDを推進する
- キリスト教教育に関する教職員研修を充実させる
- 保育力向上のため保育教諭の園内研修体制を充実させる
- 園外研修成果の効果的な情報共有のための記録を作成し、園内研修を強化する
- 教職員を積極的に外部研修会へ派遣する
- 学園教育活動に役立つ研修会、講演会を企画実施し、多くの教職員の参加を推進する

5. 多様な研究の推進

- 研究力の向上および領域横断型研究を推進する
- 外部競争的研究資金の獲得に向けた取り組みを推進する

6. 大学と連携した特色ある保育の推進

- 「表現教育」「英語教育」の充実に加え、「体育教育」「美術教育」など、大学と連携し新たな特色となる保育教育を行う

7. 大学生の実習受け入れ態勢の充実

- 効果的、効率的な実習の受け入れと在り方について検討し実践する

8. 中高一貫教育の充実と発展

- 一貫教育検討委員会の機能を強化し、カリキュラムや行事等の見直しを図る
- 中高一貫部と高入部の融合を検討し、中高の留学制度の見直しを図る

9. 法人内中大連携、高大連携の推進

- 探究活動や部活動を通じて、茨城キリスト教大学との連携を強化し、茨城キリスト教大学への進学者を増やす

10. チャペルのあるキャンパス・ライフ

- 大学においてミニコンサートなどの「企画チャペル」、他学部・他学科の教員の話が聴ける「学科チャペル」を充実させる
- チャペルのオンライン配信の質向上を図る

戦略 III

地域連携とグローバル化の推進

1. 地域社会貢献への積極的活動実施

- 地域社会からの要請による講座を開講する
- 地域で行われるイベントに積極的に参加する
- 地域との連携によりリカレント教育を推進する
- 地域にある小学校との積極的な情報交換の機会を増やす
- シニア世代の来園、施設訪問等による交流機会を増やす
- 中学生高校生の職場体験等の円滑な受け入れ体制を構築する
- 地域の病院や福祉施設でのクリスマス時期のキャロリング実施拡大と体制を強化する
- 地域の諸教会での讃美奉仕(中高コーラス部やハンドベル部の派遣など)の拡大を図る

2. グローバル化の推進

- 海外留学・研修を促進する
- 海外提携大学との連携を強化する
- キャンパス内の国際化を促進するための体制を充実させる
- 教職員の海外保育制度施設視察内容を充実させ、研修会などによる情報共有を図る
- 現行の留学制度に加え、オンラインでの国際交流の充実を図る

3. 地域社会との連携を推進し、外部人材および資源の活用

- 探究活動を通じた地域連携を強化する
- 自然科学教育分野において外部機関と連携し教育内容を充実させる

4. 海外のキリスト教系学校学生との交流

- USAキリスト教系大学の音楽ユニット・コンサートツアーの受け入れを行う
- キリスト者留学生による英語によるパイブル・スタディを実施する

戦略 IV

キャリア教育と就職支援・進学支援

1. 進路支援に対する組織的な支援体制の強化

- 体系的なキャリア教育を行う
- 就職活動や支援体制強化のために卒業生との連携を推進する
- 各種免許や資格取得、採用試験の合格者数増加を図る

2. キャリア教育の実践と充実

- 体験的なキャリア教育活動を計画して実施する
- 探究活動を通してキャリア教育の充実を図る

3. 学習指導と進路指導の強化

- 国公立大学、難関私立大学、海外大学の合格者を増やす
- 課題研究、教科横断的な取り組みを強化する

戦略 V

バランスのとれた財務基盤の構築

1. 組織ガバナンスの強化

- 「茨城キリスト教大学ガバナンス・コード」に基づき、適切なガバナンス確保に努める
- 教育研究の水準向上、および社会的責任を果たしていくため、自己点検・評価を徹底して行う

2. 予算配分の適正化

- 各学校の魅力度・総合力UPを図り、経営目標とする入学者数を確保する
- 学業特待・体育特待制度を入試制度と連動させて再構築し、奨学費支出を適正化する

3. 収入の多様化と経費節減による財政基盤強化

- 学納金収入の確保に加え、収入の多様化(寄付金収入・公的補助金収入・他)を図る
- 経常的な収支バランスを図り、資金を確保する

4. 中長期修繕計画の策定と必要資金の確保

- 校舎を含め既設施設(電気設備・給水・学園中央道路など)用途の見直し検討を行う
- 備品、施設管理台帳を活用し将来に向けた年次修繕計画を立案する

5. 安心と安全に基づく環境整備

- 自然災害、原子力災害、交通災害に備えた防災活動および意識啓発を継続的に行う
- 警備体制、情報管理体制整備など危機管理をしっかりと行い安全管理体制を保持する

学校法人 茨城キリスト教学園

■ 茨城キリスト教大学大学院

文学研究科 英語英米文学専攻
生活科学研究科 食物健康科学専攻
心理学専攻
看護学研究科 看護学専攻

■ 茨城キリスト教大学

文学部 文化交流学科
現代英語学科
児童教育学科 (児童教育専攻・幼児保育専攻)
生活科学部 心理福祉学科
食物健康科学科
看護学部 看護学科
経営学部 経営学科

■ 茨城キリスト教学園高等学校

全日制普通科

■ 茨城キリスト教学園中学校

完全中高一貫6年制教育

■ 茨城キリスト教大学附属認定こども園

せいじ園・みらい園

第15期中期経営計画 2021年4月1日開始

Peace
Truth
LOVE  茨城キリスト教学園

〒319-1295 茨城県日立市大みか町6-11-1

TEL: 0294-52-3215(代)

FAX: 0294-52-3493

<https://www.icc.ac.jp/edu/>

